

あ の わ へ

第 23 号

2013.10.18

興道南部保育園

米沢市本町二丁目4-47
TEL 0238-21-3756



“サリガニといっしょにおよぎたいな”
(しんほ あやとくん 5歳児)



“ちょうちよのおうちにいきたいな”
(よしざわ ももはさん 5歳児)

種々な昆虫とお友だちになったら何したい？



“かぶとむしとせりーをたべたいな”
(あいた ななこさん 5歳児)



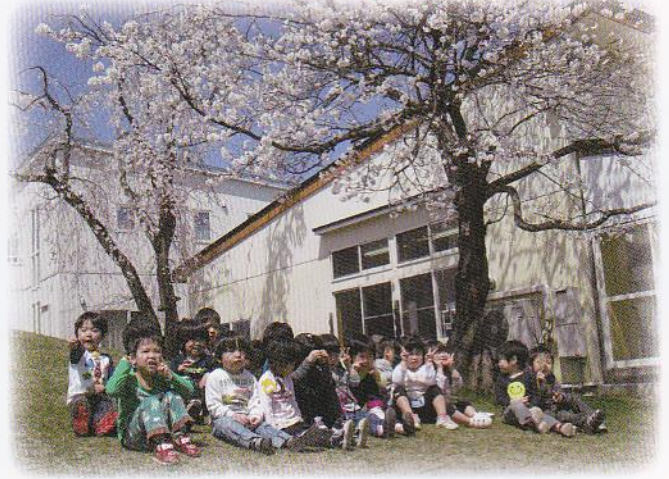
“うらこは
たべたいな”
(あそひたいな”
5歳児)



“かぶとむしとせりーをたべたいな”
(おがわ うらさん 5歳児)



ありがとう 南部公園



すなほのおもちや
みんなではこぶよ。
よいしょ、よいしょ!



けんけんパー



よいしょ、
よいしょ



いらっしやいませ、
なににしますか?



ダンボールのみち、
みんなでわたろう



いくよー!



ゆりくみで
つくった
おやさいとれたよ

きゅうり

トマト



うわっ
できた～



ねえねえ、
なににつくるの?

大正13年、この地に興道南部保育園は、創設されました。長い年月を経ていますが、その間何人の子どもたちが公園と共に過ごし、成長し巣立っていったことでしょうか。

公園は、四季の彩りや変化を目で見て体で感じいろいろな刺激を受けることができ、心を豊かにしてくれた最高のあそび場でした。公園で過ごせ、思い出がたくさんできたことに感謝し、今を楽しみ、今を生きる子どもたちの今後に期待したいと思います。子どもたちの底抜けに明るい笑顔をお届けします。 (戸田 記)



「元気な子どもたちとともに」

村田 恒生

4月に当園に異動してきてからあつという間に6か月が経ちました。「こうちょう先生」からようやく「こうしょう先生」と呼んでもらえるようになった今日このごろです。私自身、初めての保育園勤務とあり、今までとはまた違った新鮮な日々を送っています。振り返ると、ドキドキだった入園式、人がいっぱい動物園(遠足)、大はしゃぎのプール開き、盛りだくさんの夏祭り。数か月の内に子どもたちの様々な姿や笑顔に触れ合うことができました。多くのことを何でも吸収するこの大切な時期に、子どもたちと一緒に過ごすことができる喜びと責任を持ち、私も共に成長できたらと思っています。

そして、いよいよ新園舎の建設が始まりました。保育園でお世話になった方々にとっては新しい建物への期待感と、古い園舎との別れの寂しさが混じり合う時期ではないでしょうか。お世話になった園舎に感謝しつつ、引っ越しの日が来るまでたくさん思い出をつくりましょう。

我が家のめんご

「勝手に出た花」

佐藤 俊子(佐藤 かなえちゃんのおばあちゃん)



夕方、私が草むしりをしていると、孫のかなえも“やりたい”と手伝ってくれました。「ばあちゃん、この花(雑草)、勝手に出てきた花でしょう」と言って草をむしっています。私は、苦笑いしながら「勝手にいうか…、自然っていうか…。でも、かなえちゃんみたく可愛い」と言うのにこにこ。晩御飯の時には、その話で大笑いです。孫と祖母の会話を楽しみ、幸せを感じながら成長を見守っていきたいです。

「将来は保育士？」

皆川 すか(高橋暖心ちゃん・和心ちゃんのおばあちゃん)



1歳半違いの姉妹です。仲良くお母さんごっこをしているかと思うと、喧嘩して大きな泣き声が聞こえてくる賑やかな我が家。1歳のはとこのみんちゃんが遊びに来ると大喜びで世話を

し、遊んでくれる小さなお母さん、お姉ちゃんになって接する姿は、本当にめんごいです。お出かけした時に、「ばあちゃん、ただいま～」と、元気に声をかけてくれることにうれしく思い、日ごと成長を感じています。

「のんちゃん がんばったね」

東海林 小夜子(東海林希くんのおばあちゃん)



希は、7か月で生まれ、更に早生まれ。家族はもちろん、先生やお友だちの力を借りて、元気で優しい子に育ってくれました。春に行われた“花まつり”では、みんなと一緒に踊れるのが心配でしたが、お友だち24人と堂々と元気に踊ってくれました。ゆり組全員のいきいきと満足そうな顔が見られ嬉しかったです。これからは、“強くて優しい子”に育ってね。

「孫は宝物」

小笠原 康雄(小笠原飛天くんのおじいちゃん)



うちには、三人の孫がいます。中学三年生、中学一年生、そして保育園の年中さん。上二人とは離れて誕生した三番目は、やんちゃで頼もしい。言う事だけは一人前。たまに園に迎えに行くと、「じいちゃん、遊んでから帰っぺ」と、プランコやらすべり台やら、公園をかけ回る孫。私は、十三人兄弟の末っ子ですが、末っ子には常に負けん気をもって、優しく、そして勇気ある強い男に育て欲しいと、じいちゃんは願っています。孫の成長は、私の宝物。

編集後記

まるで保育園のお庭のような南部公園。この広くて自然がいっぱいのお庭で、泣いたり笑ったりけんかをしたりしながら、たくさん子どもたちが大きくなりました。本号では、南部公園での楽しい思い出を忘れないように、“南部公園ありがとう”の気持ちを確かめ合う特集にしました。「あのね」を見ながら、お家のみなさんで南部公園の思い出を語り合っていたらと思います。来春には新園舎へ移転となりますが、この南部公園でこれからやってくる秋と冬を存分に楽しみたいと思います。(鈴木 記)